



消防千葉

2016 No.542 平成28年1月号

平成28年1月1日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



松尾交流センター洗心館（山武市）山武支部

年頭のごあいさつ

千葉県知事

森田 健作



明けましておめでとうございます。

県下 34,000 有余名の消防職員、消防団員並びに関係者の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、常日頃から火災や風水害などの各種災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、日夜、献身的に職務に精励されていますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

近年、台風や異常気象等に伴う集中豪雨や大雪などにより、全国各地で甚大な被害が発生しています。

昨年 9 月の関東・東北豪雨では、鬼怒川の堤防が決壊し大きな被害のあった茨城県の被災地において、救出活動等のため緊急消防援助隊千葉県大隊に御活躍いただいたところです。

11 月には、第 5 回緊急消防援助隊全国合同訓練が本県で開催され、全国の緊急消防援助隊のほか、県内消防本部、消防団、自衛隊や警察、海上保安庁などから過去最多となる総勢約 2,800 人の方々に御参加いただきました。訓練に御協力いただきました消防職員・消防団員、関係者の皆様に、あらためまして御礼申し上げます。

全国から集結した緊急消防援助隊の受け入れや、緊急消防援助隊と県内消防及び関係機関が連携して活動するという貴重な訓練の経験を生かし、今後、万が一、本県で大災害が発生した場合にも、迅速かつ適切に対応してまいります。

さらに、複雑化・多様化する災害に対応するため、消防職員や消防団員の皆様が高度で実践的な教育訓練を実施できるよう、また、防災力の強化を図るため、県民や事業者、自主防災組織の皆様が実践的な訓練・研修を行えるよう、平成 31 年度中の全施設の供用開始に向けて「消防学校・防災研修センター」の整備を進めてまいります。

「安全で豊かな暮らしの実現」は県民すべての願いです。

本県にも大きな被害をもたらした東日本大震災の発生から 3 月で丸 5 年となります。この震災の教訓を決して忘れず、県民、事業者、自主防災組織、県、市町村などが一丸となり、地域防災力の向上を図るための施策を推進し、災害に強い千葉県づくりに取り組んでまいります。

結びに、本県消防のますますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

平成 28 年元旦

年頭のごあいさつ

平成 28 年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

公益財団法人千葉県消防協会会長
千葉県少年婦人防火委員会会長

石橋 毅



消防職・団員並びに消防関係の皆様には、常日頃、地域の安心と安全を守るため、地域防災の最前線に立ち、日夜献身的な活動を続けられておりますことに対し、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

また、平素から当協会の運営や活動に対し、格別のご支援、ご理解を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、自治体消防は、関係各位のご努力により、各時代の要請に応えつつ、着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として住民から多大な信頼と期待が寄せられております。

東日本大震災以来、首都直下型地震や南海トラフ地震等の発生が危惧され、また、昨年とは本県においても「平成 27 年 9 月関東東北豪雨」などの大雨により、がけ崩れ、床上床下浸水など災害が多発し、大きな被害を受けました。

このような中、千葉県消防協会としても東日本大震災後の我が国の消防防災体制のあり方を示す「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、快適で安全安心な郷土をつくるために、各地の消防団が活性化し、常備消防と協力して、消防活動がより安全で迅速なものとなりますよう、更に努力してまいります。

昨年は、3 月の日本消防協会表彰式において、市原市消防団が特別表彰まといを受章し、10 月の全国女性消防操法大会に出場した柏市女性消防隊の指揮者と二番員が優秀選手に選出されるなど、輝かしい成績を残しました。

また、女性消防団員の確保の促進につきましては、関係者の皆様の熱意とご努力により、新たに柏市・山武市・鎌ヶ谷市に誕生するなど、着実に実績を上げてきております。

一方で、協会の不適正な経理処理で皆様にいろいろと御心配をおかけしましたが、本年は、コンプライアンスの順守を一層徹底するとともに、協会の監事や職員体制の見直しを進めるなど、事業の適正な運営に努めます。

そして、本県消防の発展のため、防火防災思想の普及啓発、消防団員の確保策の検討、消防団の活性化、消防職・団員の福利厚生等の促進等に全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が災害のない平穏な年でありますよう、また本県消防の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成 28 年元旦

明けましておめでとうござ



- 栄町消防団長 芝野照敏
- 香取支部
- 香取広域市町村圏事務組合
- 香取市消防団長 諏訪正基
- 神崎町消防団長 遠藤栄治
- 香取広域市町村圏事務組合
- 多古町消防団長 飯田 茂
- 香取広域市町村圏事務組合
- 東庄町消防団長 伊藤 進
- 海 匝 支 部
- 銚子市消防団長 芝岸 弘
- 匝瑳市消防団長 石田進康
- 旭市消防団長 鈴木 格
- 山 武 支 部
- 東金市消防団長 植松一夫
- 山武市消防団長 佐久間和雄
- 大網白里市消防団長 毛利清治
- 九十九里町消防団長 佐久間一夫
- 芝山町消防団長 小川総夫
- 横芝光町消防団長 椎名孝次
- 長 生 支 部
- 長生郡市広域市町村圏
- 組合消防団長 小高利広
- 夷 隅 支 部
- 勝浦市消防団長 中村東雄
- いすみ市消防団長 齋藤芳一



千 葉 県

- 大多喜町消防団長 二階堂孝
- 御宿町消防団長 小川 征
- 安 房 支 部
- 館山市消防団長 石井利明
- 鴨川市消防団長 吉田裕迪
- 南房総市消防団長 鈴木勝一
- 鋸南町消防団長 大胡昌広
- 君 津 支 部
- 木更津市消防団長 竹内克哉
- 君津市消防団長 松崎良成
- 富津市消防団長 石井輝之
- 袖ヶ浦市消防団長 吉田政幸
- 防炎危機管理部長 加藤岡 正
- 消防課長 生稲芳博
- 消防学校長 八田 稔

千葉県消防協会連合会

- 一般社団法人千葉県消防設備協会
- 東京電力株式会社
- 千葉火力発電所
- 鬼怒川ゴム工業株式会社
- 日本曹達株式会社 千葉工場
- 株式会社 MORESCO 千葉工場
- 丸善石油化学株式会社 千葉工場
- 旭硝子株式会社 千葉工場
- コスモ石油株式会社 千葉製油所
- 東京電力株式会社
- 五井火力発電所
- 東京電力株式会社
- 姉崎火力発電所
- 三井化学株式会社 市原工場
- 住友化学株式会社 千葉工場
- 東燃ゼネラル石油株式会社 千葉工場
- 日立化成株式会社 五井事業所
- 電気化学工業株式会社 千葉工場
- 日本中央競馬会 中山競馬場
- 流山キッコーマン株式会社
- 成田国際空港株式会社
- 空港運用部門保安警備部
- 成田山新勝寺
- 日華化学株式会社 関東工場

- 三井化学株式会社 茂原分工場
- 双葉電子工業株式会社
- 広栄化学工業株式会社
- 富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所
- 東京電力株式会社

袖ヶ浦火力発電所

NAAセーフティサポート株式会社

(順不同)





います 平成28年 元旦

公益財団法人千葉県消防協会

千葉県消防協会評議員

公益財団法人千葉県消防協会 顧問会役員等

県下市町村消防団長

最高名誉顧問

倉田寛之

千葉支部

酒井 薫

特別顧問

石井利孝

同

安原健吉

会 長

石橋 毅

東葛飾支部

伊藤陽基

副会長(消防長会)

大麻精一

同

高橋廣孝

同(海匝支部長)

芝岸 弘

印 旛 支部

今井定男

同(東葛飾支部長)

小田山博史

同

齊藤弘一

同(印旛支部長)

齊藤一郎

香 取 支部

奈良勝夫

同(夷隅支部長)

中村東雄

同

遠藤栄治

理 事

鈴木良紀

海 匝 支部

加藤和美

同(千葉支部長)

原 久男

同

鈴木 格

同(香取支部長)

伊藤 進

山 武 支部

押田信明

同(山武支部長)

椎名孝次

同

小川総夫

同(長生支部長)

小高利広

長 生 支部

佐久間重光

同(安房支部長)

鈴木勝一

同

鈴木治夫

同(君津支部長)

石井輝之

夷 隅 支部

鈴木 孝

同(消防長会)

奥野三男

同

齊藤芳一

同(消防長会)

青木一志

安 房 支部

深谷静夫

同(県消防課長)

生稲芳博

同

大胡昌広

同(県消防学校長)

八田 稔

君 津 支部

小平純一

専務理事

中澤正道

同

吉田政幸

常務理事

鎌水三千男

監 事(東葛飾支部)

吉田喜一郎

同(印旛支部)

塚本正英

同(消防長会)

大塚 等

相談役

田中榮一

同

松島 洋

同

金坂光一

同

川崎吉太郎

会 長

三代川利男

副会長

近藤 博

同

森 正三

同

小倉義雄

同

石川 實

同

秋元浩司

同

金子 裕

同

藤江進一

同

目良和夫

同

吉野正壽

同

内藤 肇

同

石井友治

監 事

長谷川昌之

千 葉 支 部

千葉市消防団長

原 久男

習志野市消防団長

三代川彦博

市原市消防団長

中山光夫

八千代市消防団長

安原健吉

東 葛 飾 支 部

市川市消防団長

高橋廣孝

船橋市消防団長

渡辺義博

松戸市消防団長

齋藤和實

野田市消防団長

中田弘二

柏市消防団長

小田山博史

流山市消防団長

小倉那裕

我孫子市消防団長

吉田喜一郎

鎌ヶ谷市消防団長

川上英明

浦安市消防団長

平林清重

印 旛 支 部

成田市消防団長

村島義則

佐倉市消防団長

櫻井道明

四街道市消防団長

塚本正英

八街市消防団長

齊藤弘一

印西市消防団長

川上賢二

白井市消防団長

川上正紀

富里市消防団長

篠塚清春

酒々井町消防団長

齊藤一郎



平成27年度 消防功労者等の決定

消防業務または消防行政などに功労のあったもの及び消防の永年勤続者に対して、(公財)日本消防協会と(公財)千葉県消防協会から表彰する平成27年度の消防功労者等がこのたび決定しました。平成27年度は、1,409人が受章されます。

- (1) (公財)日本消防協会長表彰 平成28年3月10日(木)
日本消防会館 ニッショウホール
- (2) (公財)千葉県消防協会長表彰 平成28年3月18日(金)
青葉の森公園芸術文化ホール

支部別消防功労者等一覧

平成27年12月21日現在

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	協会	合計
日本消防協会長	46	123	48	12	14	28	7	9	16	21		324
特別功労章												0
特別表彰まとい												0
表彰旗						1						1
竿頭綬												0
功績章(一般)	4	6	6	3	2	3	2	2	2	3		33
功績章(女性)		1										1
精績章(一般)	10	15	14	6	6	8	4	5	5	7		80
精績章(女性)	1	1										2
勤続章	31	100	28	3	6	16	1	2	9	11		207
優良女性消防隊												0
優良女性消防隊員												
永年勤続職員表彰												
千葉県消防協会長	129	317	189	69	54	108	50	34	66	69		1085
出初式	64	99	83	37	36	48	25	30	36	45		503
功労章	16	25	19	9	9	12	6	7	9	11		123
精勤章	48	74	64	28	27	36	19	23	27	34		380
千葉県消防大会	65	218	106	32	18	60	25	4	30	24		582
特別功労章	1	1	2	2	0	1	1	1	1	1		11
永年勤続功労章	34	113	54	15	8	32	12	1	13	8		290
功績章	4	7	6	3	3	3	2	2	3	3		36
表彰	個人		7									7
	団体	1	2									3
感謝状	ア	25	83	44	12	7	24	10	0	13	12	230
	イ		5									5
合計	175	440	237	81	68	136	57	43	82	90		1409

平成27年度 消防団員指導員研修の開催

11月28日(土)~29日(日)

新入団員や比較的経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団の副団長、分団長など幹部を対象にした指導員の養成研修が、11月28日から29日の1泊2日の日程により、千葉県消防学校において行われました。

研修には30所属、48名が参加し、28日9時30分から入校式が行われ、国歌斉唱、入校生指名点呼の後、石橋消防協会長の式辞、八田県消防学校長の挨拶及び所属を代表して竹内木更津市消防団長の挨拶がありました。

その後、内務規律や幹部心得などの講義を受け、午後からは屋外訓練場において訓練礼式及び火災防ぎょの実地訓練を行いました。

宿泊は千葉みなとの「ポートプラザちば」で、バスによる送迎が行われました。

29日は、8時半からの朝礼に続き、「指揮者の役割と火災防ぎょ」及び「救命活動」の研修を行い、午後3時半からの修了式で、全員が修了証書を受けて全課程を無事修了しました。



石橋会長挨拶



八田消防学校長挨拶



竹内木更津市消防団長挨拶



入校生指名点呼

第5回 緊急消防援助隊全国合同訓練実施！

本訓練は、「第5回緊急消防援助隊全国合同訓練実施要綱」に基づき、首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模災害に対応できるよう、全国規模の参集訓練及び実践的な部隊運用訓練を実施し、より迅速な参集体制の確立及び連携活動能力の向上を図る。また、大規模災害時における千葉県受援計画の検証及び実働関係機関との連携活動の強化を図ることを目的とする訓練で、その訓練の概要は以下のとおりです。

訓練概要

1 実施日時

平成27年11月13日（金）7時から
11月14日（土）12時まで

2 実施場所

- (1) 本部運営訓練会場：千葉県庁他9か所
- (2) 実働訓練会場：市原スポレクパーク隣接地他3か所
- (3) 輸送連携訓練会場：海上自衛隊下総航空基地他2か所
- (4) 宿営訓練会場：蘇我スポーツ公園他2か所

3 主催・共催

総務省消防庁、全国消防長会、千葉県、千葉県消防長会

4 参加機関

- (1) 参加機関 各都道府県緊急消防援助隊、千葉県内消防本部、千葉市・市原市・木更津市・山武市消防団、石油コンビナート地域の自衛防災組織、防災関係機関等
- (2) 参加人員 約2,800人

5 訓練想定

千葉県で最大震度7を観測し、複合的な災害が広範囲で発生したため、千葉県知事は、緊急消防援助隊の出動を要請する。緊急消防援助隊は、消防庁長官の指示又は求めに基づき、千葉県に出動し、災害現場で消火・救助・救急活動等を実施するとともに、関係機関との連携した活動を展開する。



森田知事挨拶



高所保水車による放水



消防応援活動調整本部

わが町の消防団 ① 八千代市消防団



八千代市は千葉県の北西部に位置し、南は千葉市、西は習志野市・船橋市、東は佐倉市、北は白井市・印西市に接し、東京から30キロ圏に位置します。

交通網としては、南部から北西部にかけて東京環状、国道16号が走り、市の中心部を東西に東葉高速鉄道・南部には京成電鉄本線が走っています。

人口は平成27年10月末で、約19万4,000人で、都市部と緑豊かな自然に恵まれた地域が融合する都市であります。

消防団の構成は、安原健吉消防団長をはじめとする1本部・13分団で、平成27年10月末現在で299名（男性274名・女性25名）の団員で活動を行っており、全国的にサラリーマン化など社会情勢の変化により、団員数が年々減少傾向にありますが、八千代市の消防団員の充足率は、10月末現在、96.8%（定数309人、実員299人）と高い水準を維持しております。

装備につきましては、消防ポンプ自動車9台と小型動力ポンプ付積載車4台の合計13台の消防車両を配置しており、将来的には全車両を消防ポンプ自動車に更新し充実強化に努めてまいります。

活動状況としましては、地域の「安心・安全」のために、日頃から消防職員の指導を受け、揚水訓練・ロープ結索訓練等、各種訓練に励み、昨年は複雑多様化する各種災害に対応するため、消防団活動時における危険を予知するための能力を養成する「消防団危険予知訓練（S-KYT）」の研修を実施し、消防団員の知識の向上に努めております。また、女性消防団員は現在、団本部に25人が在籍し、本部付女性分団長を中心に、応急手当指導員資格と女性の持つ対応の柔らかさを生かし、普通救命講習会や住宅用火災警報器設置等の普及啓発活動を実施しております。特に昨年11月に開催された「第20回全国女性消防団員活性化ちば大会」では、千葉県代表として参加し、「育てよう未来につながる女性消防団員活動」と題して、全国から参加した3,800人の女性消防団員に向けて活動事例を発表しました。さらに、今年は消防フェアで、子供向けに防火啓発の内容を含んだ紙芝居を実施するなど年々活動の場を広げております。

終わりに、「安心・安全」は、市民の願いでもあり、消防職・団員の願いでもあります。今後も、地域の安全を守るために、地域の防災リーダーとして、目的意識を強く持ち、より一層の創意工夫により消防団活動の充実強化を図り邁進してまいります。



わが町の消防団 ② 四街道市消防団



四街道市は、千葉県北部に位置し、都心へ40キロメートルの圏内にあり、市域は東西約7キロ、南北約9キロ、面積34.52平方キロメートルです。

昭和30年3月に、千代田町と旭村の合併により四街道町が誕生し、当時の人口は約18,000人でした。昭和40年代前半から旭ヶ丘グリーンタウン、千代田団地、みそら団地などの大型団地が誕生し、首都圏のベッドタウンとして急速に人口が増加するとともに、自然と都市機能が調和したまちとして成長してきました。

昭和56年4月に市制が施行され、現在は約91,000人の市民と共に、未来を創造する「市民参加」のまちづくりを推進しております。

四街道市消防団は、塚本正英団長以下255名、1団本部、18個分団の体制で、装備については団司令車1台、消防ポンプ自動車7台、小型動力ポンプ付積載車11台を配置しています。

災害対応の他、主な消防団活動としては、消防操法大会に向けた消防操法訓練、機関員訓練や火災予防週間中における広報活動、水利点検及び歳末特別警戒等を実施しています。更に東日本大震災や阪神淡路大震災での事例を教訓として、チェーンソー取扱訓練や重量物排除訓練、倒壊家屋からの救出訓練を行っています。



平成17年度から発足した女性消防団員については、応急手当普及員の資格を取得し、防災訓練や各種行事等において応急手当の知識・技術の普及活動を行うなど、活動の場を広げながら活躍しております。

消防団は、地域密着性、要員動員力、即時対応力という特性を十分に発揮するため、地域の実態にあった組織、団員数を確保し、地域に必要な体制を整えることが必要です。しかしながら、全国的にも団員数は減少の一途を辿っており、当市においても減少傾向となっているのが現状です。



団員減少要因としては、団員の高齢化に伴う退団者の増加、少子化による若年層の減少、就業構造の変化、地域社会への帰属意識の希薄化など様々ですが、特に若年層からの入団者を確保することが難しくなっています。

当市では、そのような状況に歯止めを掛け、更なる消防団の充実強化を図るために、平成27年4月に新たに消防団条例を制定し、消防団の処遇改善及び入団条件の緩和を図り、11月には千葉県地域防災力向上総合支援補助金を活用し、消防団活性化イベントとして「消防フェスティバル四街道2015」を開催し、消防団への入団促進のPRを行いました。

消防団は、地域の安心・安全のために、献身的かつ奉仕的に活動しており、地域における身近な消防防災リーダーとして重要な役割を担っています。団員数が減少することは地域の防災力の低下に繋がることから、今後も団員確保策を検討しながら、必要な組織・規模を維持するよう努力してまいります。

東 南 西 北

東 西 南 北 大規模災害派遣対応訓練の実施 柏市消防局

柏市消防局特別救助隊では、平成 27 年 9 月 11 日、大規模災害派遣対応訓練としてブリーチング、サーチング訓練の習熟、又、近年多発しているゲリラ豪雨等の土砂災害に対応したトレンチレスキューの訓練を行った。同時進行で野営施設設営訓練も行われた。

長時間の活動に隊員は、災害派遣の厳しさを経験した。



東 西 南 北 過去の教訓から学ぶ！訓練、伝承、絆、3つの柱で地域の防災力向上！ 松戸市六実消防署

松戸市六実消防署では9月13日(日)、地域の防災力向上のため、管内の五香東町町会及び五香本町町会の合同防災訓練に指導隊として参加しました。

今回の防災訓練では、約 200 名の地域住民が参加し、「訓練の必要性、過去の災害における教訓で得た知識の伝承、そして地域住民同士の絆の重要性」についての防火講話を行いました。

また、実技訓練では、AED（自動体外式除細動器）を使った心肺蘇生法を中心に、消火訓練、避難訓練など、多くの市民が積極的に訓練へ参加することができました。特に AED は近年、コンビニエンスストア等でも多く設置され、住民生活の中でより身近になったことから、参加者はこれまで以上に関心が高く、一人ひとりが理解を深めることができました。

今後も防災訓練において、多くの知識及び技術を市民の方々に伝え、管内地域の更なる防災力向上に努めてまいります。



東 西 南 北 鎌ヶ谷市消防団女性部発足式を開催 鎌ヶ谷市消防本部

10月3日(土)鎌ヶ谷市消防本部において、消防団女性部の発足式を開催しました。

鎌ヶ谷市として初めて採用された11名の女性団員は、市内在住または在勤の30歳代から60歳代で構成され、4月に入団辞令の交付を受けてから、規律訓練や救命講習を受講する等、消防団員としての基本訓練を経てこの発足式を迎えました。

式の中で川上消防団長が「女性の目線による活動を行い、明るいイメージで消防団をアピールして欲しい」と激励。女性部を率いる森澤部長も「女性の感性を活動に生かし、災害に強い街づくりに貢献します」と力強く誓いのことばを述べました。



女性部は今後、応急手当指導員の資格を取得し、救命講習の指導を行うなど、応急手当や火災予防について普及啓発活動を行い、将来的には災害時における避難所の支援など、後方支援活動を行う体制を整えていきます。

東 西 北 消防救急車で見せた満面の笑み！

東 南 北 松戸市六実消防署

松戸市六実消防署には消防救急車があり、「消防車」の愛称で親しまれています。

その中で、平成27年9月22日、松戸市から遠く離れた北海道の5歳のお子さんが、消防車に興味を持ち、先日、六実消防署へご家族でお越しくださいました。

消防車の中の様子や積載器具を見学すると一つひとつのものに目を丸くし、ストレッチャーの出る所を見たときには大喜びでした。また最後に消防車の前で防火衣を着て写真撮影をした際には満面の笑みがこぼれていました。

消防車の説明では、5歳のお子さんに伝わりやすいように、車両の重さを象に例えるなど、工夫をこらした内容はすべて、今年採用された職員の発案により案内され、「とてもわかりやすく楽しかった」とその日一番の笑みが見られました。

消防車は平成17年に国内第1号として松戸市消防局六実消防署に配置され、今年で10年が経ちます。

今後も消防車が子供達の憧れとして親しまれ続けるように努めてまいります。



東 西 北 一般市民を対象とした消防フェスタを開催

東 南 北 柏市沼南消防署

平成27年9月27日(日)に柏市沼南体育館で行われた沼南まつり内のイベントとして、一般市民を対象とした消防フェスタを開催しました。



消防フェスタでは、子ども用防火服を着装しての放水体験やロープ渡り体験など、日頃消防職員が行っている訓練を肌で感じてもらいました。

また、住宅用火災警報器の普及活動、AEDの取扱説明及び水消火器での模擬消火体験を通じて、市民一人ひとりへ防火・防災意識の向上を呼びかけました。



東 西 北 親子消防体験学習を実施

東 南 北 流山市東消防署

10月4日(日)穏やかな秋晴れの中、流山市東消防署訓練場で市民を対象とした「親子消防体験学習」が実施されました。

梯子車体験、放水体験、災害救助犬とのふれあいはじめ様々な体験イベントを行い、これからの火災シーズンを迎えるにあたり、防火意識を高めるとともに、消防署の仕事の内容を実際の体験を交えて理解していただきました。



また、流山消防のマスコットである「おたかくん」も参加し、子供達は大喜び。楽しく防災が学べ、また参加したいと大好評でした。

東 西 北 初の消防団教育「現場指揮課程」を開催！

東 南 北 千葉市消防団

千葉市消防団では、東日本大震災等を受け消防団の充実強化策の一環として、今年度初めて、平成27年10月3日、4日に千葉市消防学校において、消防団教育「現場指揮課程」を開催しました。

実際に小隊長としての役割を担う「部長」職を対象として、災害現場等での指揮要領や、消防団の運営方法等の習得を目的に実施しました。

座学は、隊員の安全管理や現場活動要領、避難誘導要領、避難広報要領等を学び、実科訓練として、火災防御や救助訓練等を行いました。

参加者は、緊張感のあるよい雰囲気の中で課程を修了することができました。

指揮者として学ぶべき内容が多いため、土曜、日曜の全日を通して研修となりましたが、団員の皆さんは、忙しいスケジュールをやりくりして参加しており、地域防災へかける情熱が感じられました。

今後もよりよい訓練を行い、千葉市の安全・安心のために頑張ります！



東 西 北 グラウンドゴルフを通じて地域防災力の向上！

東 南 北 松戸市消防局六実消防署

松戸市消防局六実消防署は、平成27年10月4日、松戸市防火協会六実支部主催の第20回防火グラウンドゴルフ大会を実施しました。天候に恵まれた中で管内の15町会が参加しスコアを競い合いました。

防火グラウンドゴルフ大会に伴い、防火標語が書かれた障害物等をコースに設置し、プレーしながら参加者全員に防災の必要性を訴え、また住宅用火災警報器の展示コーナーを設けて防災意識の向上を呼び掛けました。

近年、防災に関連して「自助・共助・公助」という言葉が多く使われるようになりました。今回の防火グラウンドゴルフ大会では、その中の「共助」の部分の向上に繋がったと感じています。過去の大規模災害発生事案を振り返ると、常備消防・非常備消防その他公的機関だけでは対応困難となる場合が多く、近隣住民の協力が必要不可欠となります。

今後も防火グラウンドゴルフ大会等を通じて今後発生が予想される大規模災害等に備え、「共助」に対する意識を高めていけるような活動をしていきたいと思えます。



東 西 北 火災戦術研修会を開催！

東 南 北 柏市消防局

柏市消防局は、10月30日、水戸市消防本部消防救助課の箕輪重美氏を講師としてお招きし、「火災対応を考える～火災性状と注水要領」という題目で研修会を開催しました。



これは、複雑多様化する火災に対し、大量退職による消防力の低下を防ぐことを目的とし、消防の根幹ともいえる火災対応について、炎の特性を知り、効果的な注水要領を習得するために開催したものです。

隊員からは、「炎の特性を知り、最も効果的な筒先配備と注水要領について習得することができ、この知識を実践に活かしたい。」などの声が聞かれ有意義な研修会となりました。



東 西 南 北 事故車両からの救助活動訓練を実施

船橋市東消防署

船橋市東消防署では、9月21日(月)からの秋の全国交通安全運動に伴い9月20日(日)市内の自動車教習所において行われた「交通安全フェスタ」において、実際の車両を使用し東消防署高度救助隊による交通事故車両からの救助活動のデモンストレーションを行いました。当日は多くの市民が見守る中、車両内に閉じ込められた要救助者がいるとの想定で訓練が行われ、要救助者が救出されると見学者から大きな歓声と拍手が湧き上がりました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成28年1月

1月 4日 仕事始め

1月 5日

）

平成28年出初式

2月 7日

1月21日 平成27年度婦人防火研修会



平成27年度 全国統一防火標語
「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

<表紙の説明>

松尾交流センター洗心館(山武市) 山武支部

平成27年10月1日にオープンしました「松尾交流センター洗心館」は、地域の賑わい創出のため、旧松尾町役場庁舎跡地に建設されました。洗心館は、音響面で高い性能を持ったスタジオを備えた「松尾公民館」、地域の農産物等の販売などを行う「松尾にぎわい処」、児童の放課後の安全を確保し、適切な遊びや生活の場となる「松尾学童クラブ」の3つの施設構成からなる複合施設です。

